



発行人
公益財団法人 愛媛県消防協会
松山市築山町1番35号
電話(921)8517番
会長 大西 浩司
一部55円

年頭の辞



公益財団法人
愛媛県消防協会
会長 大西 浩司

令和7年の新春を迎え、会員の皆様をはじめ、消防関係機関の皆様にご挨拶申し上げます。

皆様には、火災をはじめとするあらゆる災害から地域住民を守るため、昼夜を問わず防災の最前線で献身的なご尽力をいただいておりますことに、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

昨年は、元日の令和6年能登半島地震により甚大な被害が発生したほか、各地で強い揺れを観測する地震が相次ぎました。また、9月には、能登半島を中心とした豪雨災害が発生し復旧復興に取り組む能登地方などで大きな被害が生じるなど、台風や線状降水帯の発生などによる風水害が全国各地で発生し、甚大な被害が生じています。

愛媛県内におきましても、4月に発生した豊後水道を震源とする地震では、南予を中心に強い揺れに襲われ震度6弱を観測したほか、8月には、日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。また、この他にも大雨により大規模な土砂災害や広範囲な浸水被害が発生するなど、南海トラフ地震の発生が危惧され

るとともに、自然災害が激甚化、頻発化する傾向にあり、私たち消防機関に寄せる地域住民の期待は益々大きくなっています。

その一方で、地域防災力の中核を担う消防団は、少子高齢化による若者の減少や地域コミュニティの希薄化により全国的に団員数が減少傾向にあり、特に若年層の入団者数の減少が顕著となっています。また、近年の災害は、多様化、大規模化、長期化しており、消防団には、従来の消火・救助活動に加え、避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な任務への対応が求められています。

愛媛県消防協会では、このような状況を踏まえ、若年層が利用する媒体を活用した広報活動の推進や女性や学生などの多様な人材の確保に向けた取り組み等を進めるとともに、多数の人員を必要とする大規模災害への備えとして、昨年に引き続き東予・中予・南予の各地域を超えた県下全域の消防団を対象とした広域連携訓練を実施するなど、県内の消防力の更なる充実強化に努めてまいりますので、関係機関の皆様におかれましては、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が災害のない平穏な一年となりますとともに、皆様の益々の御健勝と御発展を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



本年も宜しく
お願いいたします

二〇二四年度全国統一防火標語
守りたい 未来があるから
火の用心

「歴史・世界など市広く承知しながら、地域の安全を」
— 令和7年新春ごあいさつ —



公益財団法人 日本消防協会
会長 秋本 敏文

新年おめでとうございます。今年がどのような年になるか、最近の災害の様子などを見ておきますと、気がかりにおなりになるかと思われませんが、愛媛県各地、無事平穏でありますようお願いいたします。

愛媛県では、台風による風水害や豊後水道地震など、これまでもさまざまな災害を体験しておられ、その都度、県下の消防職員、消防団員、女性防火クラブなど消防関係の皆様は、県民の皆様様の生命財産を守るため全力を尽くしてこられました。深く感謝申し上げます。

近年、地球環境の変化を背景に、これまでと異なる大規模な災害が各地で発生するなど、災害の様相が大きく変わり、また、地域社会の様相も少子化、人口減など変わってまいりました。そのようななかで、消防の使命を果たしていくためには、消防団員の確保など総合的な人的対応体制の充実、新たな技術、素材を含めた装備の改善、さらにそれぞれの地域の実情に応じた多様な防災基盤の整備などが必要で、すし、気象状況、災害・被害、対応体制の実態等の広範な情報の把握、活用も必要です。また、地域の皆さん総参加総活躍の地域防災体制の確保、日頃からの訓練、団結も大事です。そして、その地域の自然的社会的諸状況に応じた災害対応について検討しておくなど、本当にいろいろなことが必要でしょう。このように考えてまいりますと、消防関係の皆様のご苦心ご苦労は益々大きくなってまいります。



日本消防協会では、多くの皆様のご協力を頂き建設を進めてまいりました新しい日本消防会館が、昨年、遂に完成いたしました。殉職された方々の慰霊碑、1,000席のホールのほか、日本消防防災情報センターを設けました。この情報センターには、これまでの災害体験、消防の活動等の映像を展示して、これらの消防防災体制のあり方を考える素材を提供します。開館時の大きな画面には100年前の関東大震災、30年前の阪神淡路大震災の状況を展示しています。が、将来は東日本大震災の時の状況などを展示し、海外の情報をもっと充実させるなどいろいろ考えていかなければなりません。微力ではございますが、そのような努力を重ねて、日本消防の一層の発展に貢献できるようにすることが、この新会館建設にご協力頂いた皆様へのご恩返しとしても必要だと思っています。

県下の無事平穏、消防関係の皆様のお元氣なご活躍を心からお祈りして新年のごあいさつとさせていただきます。

災害に強いまちづくりをお手伝いします

家庭用からプロ仕様まで
消防・防災の専門商社

- ◎消防ポンプ自動車
- ◎消防ホース
- ◎防災・救助機器
- ◎避難用品
- ◎小型動力ポンプ
- ◎消防被服
- ◎消火器・消火装置
- ◎自主防災・企業防災用品



人と地球のいのちを守る
MORITA
株式会社モリタ
消防ポンプ自動車No.1メーカー



新基準活動服
新基準による
消防団員活動服



SHIBaura
消防ポンプ・防災機器
シバウラ可搬消防ポンプ



ジェットホース
操法大会最適ホース
コンベVシリーズ

(株) 岩本商会

〒790-0067
松山市大手町1丁目10番地1

Tel.089(947)2111 Fax.089(947)2116

高松支店／宇和島営業所／姫原倉庫 http://www.iwamotosyukai.co.jp

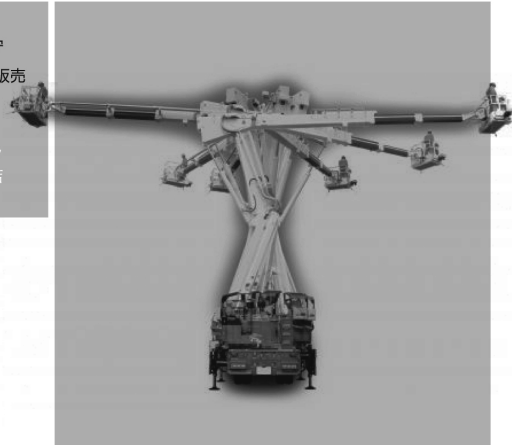
株式会社 新日本ライフテック

http://www.sn-lt.com

消防防災設備 / 給排水設備 設計・施工・保守
各種消防ポンプ車 / 救急車 / 高度医療機器 販売
防災用品 / 各種消火設備 販売

日本機械工業
株式会社代理店

ヤマトプロテック
株式会社代理店



南予営業所
〒796-0201 愛媛県八幡浜市保内町川之石1-237-130
tel.0894-36-3322 fax.0894-36-3323



本社
〒790-0054 愛媛県松山市空港通2丁目18番32号
tel.089-908-5766 fax.089-908-5767



愛媛県知事
中村 時広

明けましておめでとうございます。

平素、消防関係者の皆様方におかれましては、消火、救急、救助はもとより、住民の尊い生命と貴重な財産を守るため、日夜献身的に活動されており、深く敬意と感謝の意を表します。さて、昨年を振り返りますと、最大震度7を観測した元日の能登半島地震、県内で初の震度6弱を記録した4月の豊後水道を震源とする地震、8月の日向灘を震源とする地震にともなう初めての南海トラフ地震臨時情報の発表など、全国で大きな地震・災害が相次いで発生し、改めて「防災・減災対策に終わりなし」との思いを強くしたところです。

こうした中、県では、南海トラフ地震や激甚化・頻発化する豪雨災害等の大規模災害への備えとして、道路、河川等の公共土木施設の整備を積極的に推進するとともに、自助・共助による地域防災力の一層の向上を図るため、自主防災組織の中心的役割を担う防災士の養成やスキルアップに努めるなど、ハード・ソフトの両面にわたり防災・減災対策の強化に力を注いでおります。特に、防災士の育成につきましては、県民の皆さんの御理解・御協力を賜り、10年以上にわたって進めてきた取り組みが実を結び、昨年10月末に登録者数全国1位を達成できましたことを、大変うれしく思っています。

また、発災時の初動対応において重要な役割を果たす消防団活動につきましては、基本団員の確保はもとより、機能別団員や女性団員の加入促進、更に昨年には、地域の垣根をこえた広域的な連携訓練を実施させていただくなど、引き続き、貴協会をはじめ、各市町、消防機関等と連携しながら、「オール愛媛」体制の下、地域防災力を高めていきたいと考えております。

どうか皆様方におかれましては、こうした施策に御理解をいただきますとともに、今後とも、消防防災体制の充実に御尽力いただき、県民が安全・安心で快適に暮らすことができる「愛顔（えがお）あふれる愛媛県」の実現に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、公益財団法人愛媛県消防協会のますますの御発展と、皆様方の今年一年の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。



愛媛県消防長会
会長 村尾 尚登

令和7年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様方には、日頃から地域の安全・安心を確保するため、昼夜を分かたず消防・防災活動にご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、愛媛県内では、4月に発生した豊後水道を震源とする地震で震度6弱を観測したほか、8月に発生した宮崎県日向灘を震源とする地震では、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が気象庁から発表され、県内消防本部も対応に追われました。また、水害も頻繁に発生しました。7月の大雨では、松山市で大規模な土砂災害が発生し、11月の大雨では、松山市と今治市で観測史上1位の1時間雨量を記録し、多数の浸水被害が発生しました。

このような中、愛媛県消防長会では、土砂災害を想定した救助隊合同訓練を行い、県内各消防本部の職員のスキルアップと救助技術の共有を図りました。また、女性活躍推進事業を通じて、女性だけでなく男性も含めた誰もが働きやすい環境を作るための研修を開催するなど、時代のニーズを的確に捉えながら、常備消防体制の強化に取り組んでいます。

しかし、都市部と地方での人口分布変化や気候変動による大雨の年間発生回数の増加など、消防を取り巻く環境が大きく変化中、消防力を確保するためには、地域に根差した消防団を中心とした、自主防災組織や女性防火クラブなどの防災関係機関と各消防本部の連携が不可欠です。また、今年は、阪神淡路大震災から30年の節目の年でもあります。これまでの災害を教訓に、引き続き県内消防機関の連携体制を強化する取組が必要と考えていますので、今後とも関係者の皆様には一層のご協力とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と消防関係者の皆様方のご健勝・ご活躍を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

自治体消防75周年記念大会

日時：令和6年11月29日（金）13時20分～17時
場所：ニッシーホール

自治体消防は昭和23年に発足して以来、国民の生命、身体、財産を災害等から守るため重要な役割を果たしてきました。消防関係者の一致団結のもと、国土を守り、国民の安全を守る消防使命達成への決意を新たにする趣旨で、今年完成したニッシーホールに消防関係者が約800名集い、開催されました。

日本消防協会から大西会長、嘉村副会長が招待されたほか、渡部東温市団長、渡辺鬼北町団長、越智西条市副団長、日野松前町消防団班長、協会職員計7名が参列しました。

天皇陛下から、消防関係者への敬意や殉職者への哀悼の意、傷病者への思い、能登半島地震での地元消防、緊急消防援助隊等、力を尽くした関係者の努力を深く多としますと、おことばがありました。続いて内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、最高裁判所長官から祝辞が述べられました。

そのあと、表彰及び感謝状贈呈で日本消防協会長表彰、消防団員家族表彰で大西会長が代表受賞者とし、壇上に上がりました。

愛媛県から多くの消防関係者が受章されています。（敬称略）

（総務大臣感謝状）

土居 敏夫（元 日本消防協会副会長・前 愛媛県消防協会長）

（消防庁官表彰）

近藤 正紹（愛媛県消防協会事務局長・前 西条市消防本部消防長）

（日本消防協会会長表彰・永年勤続功労者表彰）

前田 長孝（松山市消防団）他25名

（日本消防協会会長表彰・消防団員家族表彰）

46組153名



令和6年度防火ポスターと「防火防災に関する」作文コンクールの表彰式

日時：令和6年12月26日（木）13時30分～14時20分
場所：日本消防会館6階 役員会議室

生活協同組合全日本消防人共済会主催の第24回「防火防災に関する」作文コンクールにおいて、今治市立大西中学校1年渡邊 太晴さんの作品が最優秀賞に輝き、表彰式に招待されました。

渡邊 太晴さんとご家族、木村 春彦校長、協会職員が出席しました。

太晴さんは作文が好きではないそうですが、感じたことをそのまま文章にして学校に提出されたそうです。「遊んでくれたらいいのにな」という正直な気持ち、しかし、消防団の活動内容を知ると尊敬する気持ちが芽生えたこと、お父さんのような立派な人になりたいとの思い、住んでいる町が大好きなこと等、ぐっと胸に響く内容でした。

講評では、夜警の地道な活動を取りあげ団員の姿を伝えていること、結びの「この町が大好きです」が印象的だったことなどが挙げられました。

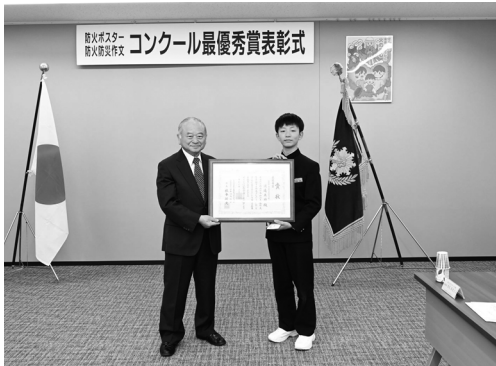
ポスターの部では、埼玉県熊谷市立大里中学校2年 浅見美友さんが最優秀賞を受賞されました。美友さんは小さい頃から絵を描くことが大好きで、他の大会でも多くの受賞をされているそうです。「大好きです」と答えたときの笑顔がとてもキラキラしていました。

講評では、様々なポスターが並んでいる中でも浅見さんのポスターが目飛び込んでくる色使いやハートのコントラストが素晴らしいなどの言葉が聞かれました。

秋本会長はコンクールを実施することで、防火防災に関心を持つっている子どもたちが作品を形にすることは意味があり、大切にしている事業だと話されていました。

木村校長から、大西中学校は愛媛県初の学校防災教育実践モデル校に指定され、津波・地震の訓練を継続して実施していること、今回の受賞で改めて防火防災教育を見直し、消防団員を含め地域一帯となった防災に務めていくとあいさつがありました。

10代前半の若い世代が消防団や防災に興味を持ち、自分で何かできることはないのか身近なところから考え、防火活動をすることで平穩無事な日々が積み重なっていくことを心から願います。



令和6年度愛媛県消防団広域連携強化訓練

訓練日時…令和6年11月24日(日) 9時00分～12時00分
場所…陸上自衛隊小野演習場ほか

参加機関

○ 消防団(17市町)

松山市消防団、伊予市消防団、松前町消防団、砥部町消防団、東温市消防団、久万高原町消防団、四国中央市消防団、新居浜市消防団、西条市消防団、今治市消防団、上島町消防団、大洲市消防団、内子町消防団、八幡浜市消防団、伊方町消防団、西予市消防団、宇和島市消防団

○ 自衛隊

陸上自衛隊中部方面特科連隊第4大隊、陸上自衛隊第14旅団第14高射特科隊

○ 消防本部

松山市消防局、東温市消防本部

○ その他

愛媛県、愛媛県消防協会

参加者179名

訓練は、松山市で最大震度6強を観測し、市内の複数個所で火災や土砂災害が発生した想定で、県に対して自衛隊の災害派遣要請・愛媛県消防団広域応援協定等に基づく消防団等の応援を要請し、火災対応訓練と土砂災害対応訓練が行われました。

特別任務部隊として松山市消防団の赤バイ隊、宇和島市消防団と新居浜市消防団のドローン隊が参加し、訓練中の情報収集を実施。

火災対応訓練として、ポンプ8台による約600mの長距離中継送水、水幕ホース(20m×2本)を活用した延焼防止訓練を実施。

県下の災害事例を教訓に、土砂による泥濘地を再現し、胴長靴による歩行や板材を活用した渡過方法(グラウンドパット)の体験や、過去の災害事例を参考に、3種類の土砂災害現場を再現し、隊員と重機(松山市消防団の機動重機隊)が連携した救助活動を実施。

県下全域の消防団を対象とした県内初の試みは、生業の忙しい中ご参加いただいた各市町消防団の皆さま、快くご協力くださいました陸上自衛隊中部方面特科連隊第4大隊・第14旅団第14高射特科隊の皆さま、計画・運営に多大なるご尽力をいただきました松山市消防局の皆さま、東温市消防本部の皆さま、その他関係者のみなさまのおかげをもちまして無事実施することができました。

この場をおかりして心から感謝申し上げます。

これを契機として、継続した訓練の実施と応援・受援時における情報連絡体制の確立に努めてまいりますので、さらなるご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



- 点検・報告・整備・工事
 - 消防用設備等・特殊消防用設備等
 - 防火対象物点検・防災管理点検
 - 防火設備点検
 - 連結送水管の配管耐圧試験
 - 消防用ホース耐圧試験

- 消防用機器等の販売
 - 各種消火器
 - 住宅用火災警報器
 - その他各種防災用品
 - 消防ポンプ自動車

～高度な技術で安心をお届けする～



株式会社 四国消防

〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号
電話 (089) 934-4800
FAX (089) 934-5533
E-mail : yons@ss4800.jp

最強コンビ

ポンプ操法



トーハツ VCPROIII



キンバイスーパーランナーホース



株式会社 ヤマダ

1910年創業



愛媛県イメージアップキャラクター
登録番号 2805024 みぎやん

TOHATSU

小型消防ポンプVFシリーズ
電子制御 燃料噴射装置

株式会社 吉谷機械製作所

消防ポンプ自動車
化学消防自動車

テイセン

テイセン救助工作車
キンバイ消防ホース

YAMATO ROTEC

ヤマトプロテック
粉末(ABC)消火器

〒790-0062 松山市南江戸1丁目2番26号

TEL: (089) 947-2295 | FAX: (089) 945-3976 | www.yamada-pump.co.jp

南海トラフ地震に備えて

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね100〜150年間隔でくり返し発生してきた大規模地震です。

科学的に想定される最大クラスの南海トラフ地震（南海トラフ巨大地震）が発生した場合、静岡県から宮崎県にかけての一部では震度7となる可能性があるほか、関東地方から九州地方にかけての太平洋沿岸の広い地域に10mを超える大津波の襲来が想定されています。

愛媛県においては、各市町で最大震度6強から7が予測されるほか、南予沿岸では太平洋から直接伝播する津波の高さが、伊方町の名取西海岸では21.3m、伊方港で8.4m、愛南町の深浦漁港で14.7m、御荘港で9m、西予市三瓶港で9.3m、八幡浜港で9m、宇和島港で6.5mと予測されています。また、東中予沿岸では豊後水道と紀伊水道を回り込んだ津波が3〜4mの高さになると予測されています。防潮堤や堤防等が地震による揺れや液状化により崩壊すると、標高の低い地域では海水が侵入します。津波が低くても注意が必要です。

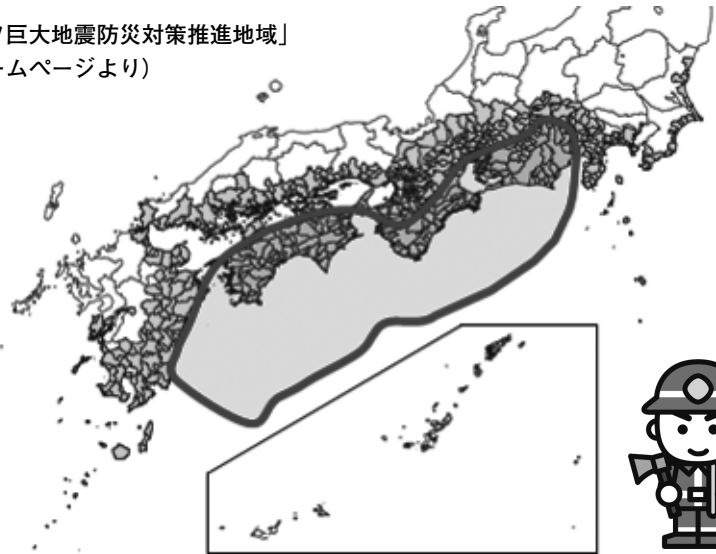
「南海トラフ地震臨時情報」とは・・・

南海トラフ沿いで巨大地震が発生する可能性が高まったときに発表される情報です。臨時情報には「調査中」「巨大地震警戒」「巨大地震注意」「調査終了」の4種類があり、それぞれに応じた防災行動が求められています。気象庁は、マグニチュード6.8以上の地震などの異常な現象を観測したときに「調査中」を発表し、その後、調査結果に基づき「巨大地震警戒」「巨大地震注意」「調査終了」のいずれかを発表します。「巨大地震警戒」の場合は、地震への備えの再確認に加え、場所によっては事前避難が求められます。「巨大地震注意」では、備えの再確認が求められ、「調査終了」では、特段の対応は求められませんが、地震の発生に注意しながら通常の生活を送ることとなります。なお、「巨大地震警戒」と「巨大地震注意」の場合、発表は1〜2週間にわたり継続されます。

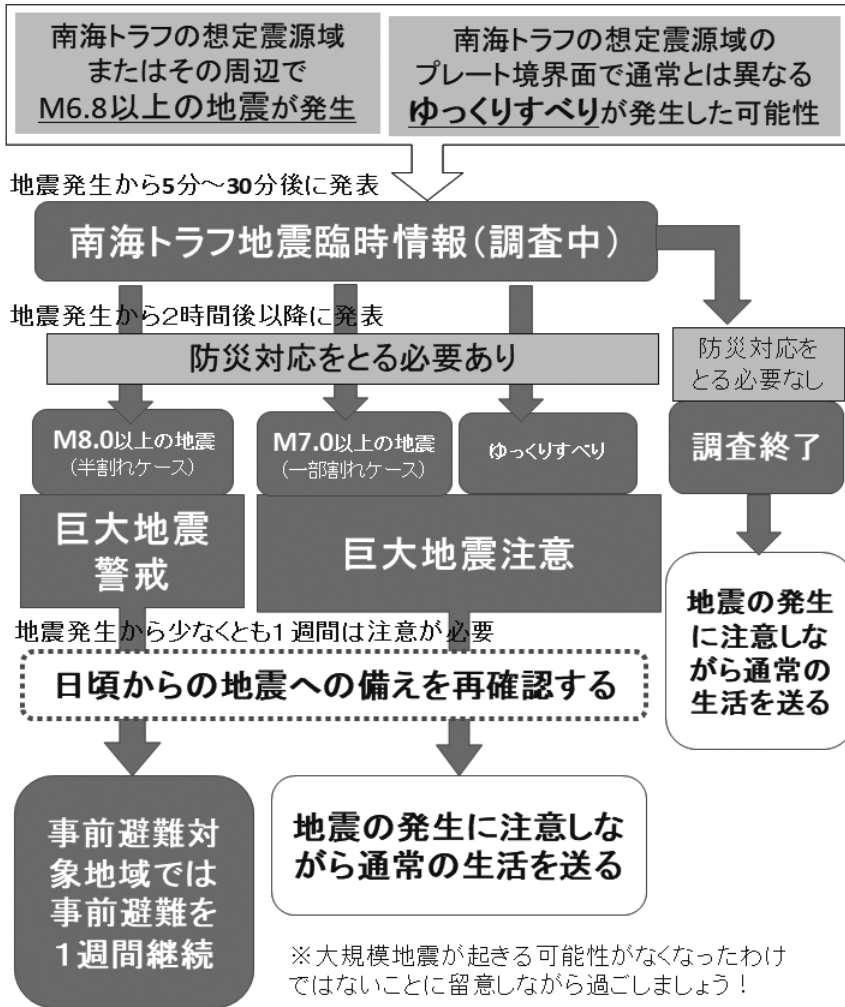
令和6年8月に発生した日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震では、南海トラフ地震との関連性について調査を始めたことを示す「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」に続き「巨大地震注意」がはじめて発表されました。また、令和7年1月13日、日向灘でマグニチュード6.9の地震が発生したことを受けて、気象庁は、「調査中」を発表し評価検討会を開きました。特段の防災対応を取る必要はないとして「調査終了」を発表しました。

日頃から、もしものときの備えを行い、地震が起きた際は、気象庁が発表する「南海トラフ地震臨時情報」を上手に活用し、自分の身は自分で守りつつ、大切な人の命を守っていきましょう！

「南海トラフ巨大地震防災対策推進地域」
(気象庁ホームページより)

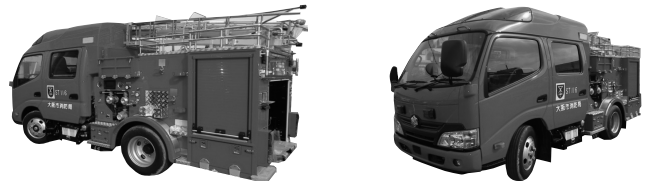


「南海トラフ地震臨時情報」が発表されたら！



- 〈臨時情報発表中の地震への備えや取るべき行動〉
- 地震への備えを再確認
 - 家具の固定の確認
 - 非常用持ち出し袋の確認
 - 水や食料などの備蓄状況の確認
 - 避難場所や避難経路の確認
 - 家族との連絡手段の確認
 - 直ぐに避難するための準備
 - 枕元に着替えや履物を準備
 - 非常用持ち出し袋を出口に準備
 - 緊急情報を受信するためのスマートフォンやラジオなどを準備
 - 家族の所在の把握
 - 身の安全の確保
 - 屋内の出来るだけ安全な場所で生活する
 - 家具のない部屋で就寝する
 - ブロック塀などの危険な場所に近づかない
 - 活動しやすい服装を心掛ける
 - 防災用品を携行する

<http://www.ogawa-pump.co.jp>
OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車(Made In 愛媛)



豊富な収納力が1台2役分の活躍を。
多くの資機材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。
コンパクトにまとめあげたCD-I



小川ポンプ工業株式会社
愛媛支社

〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号
TEL: 089-972-2392 FAX: 089-972-2400
E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

扱いやすさと
タフな空冷エンジン
を採用

空冷式消防ポンプ
FT500
B-2級

FT450
B-3級



Fi(電子制御燃料噴射)
に間接水冷
ラジエータを搭載

水冷Fi式消防ポンプ
FF500ZXi
B-2級

FF450ZXi
B-3級



操法で
活躍!

SHIBAURA

信頼と実績の
キャブレタシリーズ

水冷式消防ポンプ
FK500 B-2級
FK450 B-3級
FK400 B-3級



シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店
(有)愛媛芝浦ポンプ商会
TEL.089-933-6355 FAX.089-933-9550
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号